第109回事務報告書

令和6年度

自 令和6年1月1日

至 令和6年12月31日

一般社団法人 **日本工業倶楽部**

令和6年1月1日より同年12月31日に至る事務報告書は次の通りであります。

令和7年1月

一般社団法人 日本工業倶楽部

理事長	川	村	隆
専務理事	大	橋	夫
同	大	宮	明
同	岡	田	重
同	畔	柳	雄
同	隅	原	三
同	宮	井	治
理事	石	本	治
同	岡	藤	昂
同	加	田	夫
同	河	村	也
同	木	田	司
同	島	門	一
同	皇	井	之
同	長	岡	貢
同	向	井	一
同	宗	田	二
同	初	保	人
常任理事	保	土	介
同	杉	山	孝
同	関	口	一
同	根	津	澄
同	村	上	志

第109回事務報告書

東京都千代田区丸の内1丁目4番6号

一般社団法人 日本工業倶楽部

本会定款第35条により、令和6年1月1日より令和6年12月31日に至る事業報告、決算、期末現在の貸借対照表及び財産目録、並びに定款第34条第1項により令和7年度事業計画及び予算を添えて次の通り報告致します。

令和6年度事業報告

I 運営関係

1. 通常会員総会

令和6年2月29日午後2時当倶楽部に於て第111回通常会員総会を開催、出席会員729名（委任状出席を含む）、理事長川村隆君議長となり、次の議案を付議。

議案第1 令和5年度事業報告承認の件

議案第2 令和5年度決算承認の件

議案第3 令和5年12月末日現在貸借対照表及び財産目録承認の件

議案第4 令和6年度事業計画及び予算承認の件

上記議案第1より第4まで何れも異議なく承認。

議案第5 理事及び監事任期満了に因る改選の件

本議案は選挙を省略議長に指名一任の動議成立し、議長より次の理事19氏並びに監事4氏を指名可決した。

理事

石井宏治君	大橋光夫君	大宮英明君
岡本昂君	加藤丈夫君	川村隆君
木村恵司君	皇芳之君	長門正貢君
向井眞一君	宗岡正二君	初井勝人君
(以上重任)		
岡田明重君	河田正也君	畔柳信雄君
島田精一君	隅修三君	保土田大介君

宮原 耕治 君

(以上新任)

監事

杉山 博孝 君 根津 嘉澄 君 村上 仁志 君

(以上重任)

関口 憲一 君

(以上新任)

以上にて通常会員総会を終了。

2. 理事長、専務理事並びに常任理事の就任

令和6年2月29日通常会員総会に引き続き第639回理事会を開催、理事長川村隆君議長席に着き下記議案を付議。

議案 理事長、専務理事並びに常任理事選任の件

本議案は議長指名一任の動議成立し、議長より下記の通り指名可決した

理事長 川村 隆 君 (重任)

専務理事

大橋 光夫 君 大宮 英明 君

(以上重任)

岡田 明重 君 畔柳 信雄 君 隅 修三 君

宮原 耕治 君

(以上新任)

常任理事には保土田大介君(新任)を指名可決した。

3. 役員の異動登記の提出

第111回通常会員総会に於いて選任された理事19氏、監事4氏の就任登記及び第639回理事会に於いて選任された代表理事2氏の就任登記を4月1日に完了、所轄官庁にその手続きを了した。

4. 常置委員会委員長、委員の委嘱

令和6年4月16日川村理事長より下記36氏に常置委員を委嘱。各委員の氏名は次の通り。

財務委員

委員長 長 門 正 貢 君 (重任)

委員 皇 芳 之 君 馬 場 千 晴 君 深 澤 正 宏 君
柳 澤 裕 君

(以上重任)

會員委員

委員長 向 井 眞 一 君 (新任)

委員 秋 谷 淨 惠 君 北 城 恪 太 郎 君 島 田 博 文 君
白 熊 邦 章 君 関 榮 一 君

(以上重任)

会館委員

委員長 木 村 惠 司 君 (重任)

委員 鈴 木 宏 君 三 神 正 博 君 宮 本 洋 一 君

(以上重任)

武 井 優 君

(以上新任)

集会委員

委員長 大 橋 光 夫 君 (重任)

委員 岡 田 明 重 君 島 田 精 一 君 宮 原 耕 治 君
宗 岡 正 二 君

(以上重任)

河 田 正 也 君 平 子 裕 志 君

(以上新任)

食堂委員

委員長 河 野 雅 明 君 (重任)

委員 赤 沼 二 己 男 君 門 脇 邦 彦 君 齋 藤 邦 良 君
隅 修 三 君 濱 口 道 雄 君

(以上重任)

文芸委員

委員長 初 井 勝 人 君 (重任)

委員 岡 本 昂 君 熊 野 隆 喜 君 桑 野 秀 光 君
五 木 田 通 夫 君 平 戸 正 尚 君

(以上重任)

高 島 秀 行 君

(以上新任)

5. 常置委員の異動

会館委員鈴木宏君には9月30日逝去。会員委員秋谷浄恵君には11月12日退任。

6. 役員会等の開催

通常会員総会	1回	専務理事会	11回	理事会	4回
監事会	1回	財務委員会	3回	会員委員会	2回
会館委員会	1回	集会委員会	10回	食堂委員会	1回
文芸委員会	2回				

7. 会員入退会数

本年度の会員入退会並びに逝去の数及び現在会員数は次の通りである。

1. 入会	35名	法人	2社
		個人	33名
2. 退会	40名	法人	6社
		個人	34名
3. 逝去	22名	法人代表	3名
		個人	19名
4. 会員数 (令和6年12月末日現在)			
	911名	法人	257社
		個人	654名

Ⅱ 業 務 関 係

1. 日本工業倶楽部会館の運営

本会館を運営して会員の集会、懇親の便を図ると共に、会員会社の株主総会その他の会議、懇親会及び公益性の高い経済団体等の会合の用に供した。

本年度に於ける会館利用数の集計は次の通りである。

諸会議 懇親会 その他	1,851回
来会者延人数	46,469名（1日平均 161名）

2. 実業家資料室

財界人の伝記、著書約4,308冊、会社・団体史約1,490冊、戦前の資料・稿本類約2,700点、および各種データベース等を備えた「実業家資料室」を運営、一般にも公開し多数の利用者及び見学者があった。

3. 寿杖贈呈

本年米寿を迎えられた下記会員（生年月日順）

片岡丈治君	西田誠夫君	松浦治君
太田達男君	團野廣一君	大石孝雄君
高久宏君	上浦種彦君	吉橋隆美君
高坂節三君	葉山莞児君	江草忠敬君
石井宏治君	久富眞志君	小野英彰君
小沼光雄君	山口政廣君	西澤宏繁君
糸賀俊一君	秋谷淨恵君	手島忠君
太田惇君		

の22氏に対し寿杖の贈呈を4月25日開催の定例午餐会の席上に於て行った。

4. 科学技術の振興に対する寄付

産業の発展の基盤となる科学技術の振興に寄与するため、本年度も「科学技術振興基金」から、日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興基金及び日本学術振興会学術振興特別基金に対して、それぞれ500万円を寄付した。

5. 会員午餐会及びその他の諸集会

会員新年会	1回	会員午餐会	10回	木曜講演会	21回
金曜講演会	11回	特別講演会	1回		

健康を考える講演会 1回 会員共楽会（邦楽の会） 1回
 会員洋楽演奏会 1回 会員作品展覧会 1回
 クリスマス家族会 1回

○会員新年会 1月11日 出席数106名

○会員午餐会 2月22日 出席数41名、 3月28日 出席数29名
 4月25日 出席数50名、 5月26日 出席数20名
 6月13日 出席数38名、 7月11日 出席数29名
 9月26日 出席数23名、 10月24日 出席者19名
 11月28日 出席数22名、 12月26日 出席数50名

○木曜講演会

（開催日） （講師・演題・出席数）

1月11日 自由民主党幹事長 茂木 敏充氏
 「直面する内外の課題と『成長志向型経済』への転換」 125名

1月25日 東京大学名誉教授 岩井 克人氏
 「会社の新しい形—ミルトン・フリードマンは
 会社についてなぜすべて間違えていたのか—」 78名

2月8日 東京大学大学院総合文化研究科教授 川島 真氏
 「台湾総統選挙と中台関係—習近平三期目の政策と
 米中関係に注目して—」 76名

2月22日 京都大学名誉教授 佐伯 啓思氏
 「ロシア・ウクライナ戦争と日本—文明論の視点から—」 76名

3月14日 総合地球環境学研究所所長・前京都大学総長 山極 壽一氏
 「人新世を生き抜くために—豊かさの知恵をゴリラに学ぶ」 55名

3月28日 産経新聞社論説委員兼政治部編集委員 阿比留 瑠比氏
 「政治の現状と課題」 58名

4月11日 株式会社大和総研副理事長 熊谷 亮丸氏
 「日本経済の展望等について」 68名

4月25日 前駐中国大使 垂 秀夫氏
 「『習近平中国』をいかに理解すべきか」 99名

5月9日 株式会社日本総合研究所 国際戦略研究所 特別顧問 田中 均氏
 「今後の国際情勢を見通す」 71名

5月23日	日本労働組合総連合会会長	芳野 友子氏		
			「ジェンダー」	36名
6月13日	元衆議院議長	大島 理森氏		
			「衆議員38年を経て日本的民主主義を考察する」	69名
6月27日	慶應義塾大学法学部教授	細谷 雄一氏		
			「ウクライナ戦争と国際秩序の行方」	39名
7月11日	株式会社野村総合研究所エグゼクティブエコノミスト		木内 登英氏	
			「内外経済情勢と日銀金融政策・円安の展望」	58名
9月12日	お茶の水女子大学基幹研究院教授	永瀬 伸子氏		
			「これからの女性のキャリアと家族形成： 働き方と社会保障の改革について」	34名
9月26日	共同通信客員論説委員・白鷗大学名誉教授	後藤 謙次氏		
			「岸田首相退陣と総裁選・総選挙」	67名
10月10日	平和・安全保障研究所副会長	西原 正氏		
			「憲法第9条はすでに改正されている」	43名
10月24日	評論家	中野 剛志氏		
			「どうする財源」	33名
11月14日	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授	鈴木 宣弘氏		
			「食料安全保障～農と食と命と経済界～」	53名
11月28日	株式会社日本総合研究所主席研究員	藻谷 浩介氏		
			「誰も言わない日本の『実力』」	61名
12月12日	一橋大学名誉教授	伊藤 邦雄氏		
			「人的資本経営の現状と展望」	60名
12月26日	防衛大学校長	久保 文明氏		
			「2024年米大統領選挙と第二次トランプ政権の 外交・安全保障政策」	68名
○金曜講演会				
	(開催日)	(講師・演題・出席数)		
1月19日	元駐大韓民国特命全権大使	武藤 正敏氏		
			「日韓関係の改善は定着するのか」	59名
2月16日	学習院大学経済学部教授	鈴木 亘氏		
			「少子化問題にどう立ち向かうのか ～少子化の実態、予測、原因と正しい対策～」	41名

3月22日	株式会社資源・食糧問題研究所代表	柴田 明夫氏	「日本の食料安全保障を考える」	49名
4月19日	外務省顧問・元駐米大使	杉山 晋輔氏	「国際情勢と日本」	69名
5月17日	龍谷大学社会学部教授	李 相哲氏	「総選挙後の韓国・尹政権はどうなるのか」	47名
6月21日	中国問題評論家	石 平氏	「習近平体制の問題点と台湾有事の行方」	71名
7月19日	衆議院議員・自由民主党選挙対策委員長	小渕 優子氏	「今国会を振り返って」	67名
9月20日	元ウズベキスタン・タジキスタン大使	河東 哲夫氏	「元外交官としてロシアの行く末、日本の外交の力について考えること」	46名
10月18日	国際環境経済研究所理事	竹内 純子氏	「日本のGXの課題と展望」	34名
11月22日	東京大学大学院総合文化研究科教授	阿古 智子氏	「中国で今何が起きているのか」	46名
12月20日	ジャーナリスト・毎日新聞客員編集委員	与良 正男氏	「どうなる石破政権」	72名

○特別講演会

(開催日)	(講師・演題・出席数)
9月6日	東京大学総長 藤井 輝夫氏
	「多様性の海へ：対話が創造する未来」
	53名

○健康を考える講演会

(開催日)	(講師・演題・出席数)
第24回 10月4日	産経新聞論説委員 佐藤 好美氏
	「話題の薬、予防、暮らしの知恵」
	19名

○会員共楽会

開館記念日の催しとして11月25日大会堂にて邦楽の会を開催、各出演者が熱演、多数の来会者を得て盛会であった。

○会員洋楽演奏会

11月26日大会堂にて開催、ピアノ、ヴァイオリン、フルート等の演奏、声楽等が披露され、多数の来会者を得て盛会であった。

○会員作品展覧会

11月25日・26日の2日に亘り大ホールにて開催された。日頃より丹精の油彩画、水彩画、日本画、書、手芸、陶芸、写真等多数出品され、充実した展覧会となった。

○クリスマス家族会

12月21日に開催された。午後4時30分よりディナー、午後6時よりアトラクションが催され、会員並びにご家族は楽しい団欒のクリスマスの夕べを過ごされた。

なお会員有志の会合及び同好会として、三日会、座談会、素修会、美術鑑賞会、コーヒー・ブレイクの会、ゴルフ会、囲碁同好会、将棋同好会、俳句同好会等の活動が盛んで会員の親睦を深めた。

6. 会報及び講演要旨録の発行

会報は1月に287号、4月に288号、7月に289号、10月に290号を発行。

7. 一般財団法人 東京都警察懇話会

昭和8年政財界の有力者が警視庁援護のため設立した財団法人で、戦後本団が全面的に会の運営等を支援している。平成20年の法人法改正に伴い、平成23年9月1日付けで東京都認可の一般財団法人に移行し、警視庁に対して支援激励等、各種事業活動を積極的に展開している。

本年度は、公益財団法人「暴力団追放運動推進都民センター」等警察協力5団体への支援や民間功労者の表彰、長期未解決事件の八王子警察署「大和田町スーパー事務所内けん銃使用強盗殺人事件（平成7年7月30日発生）」特別捜査本部等への激励のほか、小笠原警察署、鉄道警察隊への激励、産経新聞社主催「都民の警察官」表彰への協賛、殉職者慰霊祭への供花、職員美術展への支援激励等、各事業活動により警視庁職員の士気高揚に貢献した。

現在の会員数 476社・団体

8. 皇宮警察桐栄会

皇室守護という崇高な使命を達成するために、日夜たゆむことなく護衛警備に専念する皇宮護衛官を支援するため、昭和26年設立されて以来、今日に至るまで本団が全面的にその活動を支援している。会の運営も概ね順調に推移している。

現在の会員数 253社

9. 防衛懇話会

経済六団体の発意により国防思想の普及高揚、自衛隊の健全な育成に協力することを目的として設立された防衛懇話会は、昭和40年創立以来本団がその取り纏め役に当たり、事業活動も順調に進展している。

本年度は自衛隊第一線部隊及び自衛隊各種行事の見学をはじめ、講演会・座談会・防衛関係資料の配布等により国防思想の普及及び高揚に努めるとともに、国際貢献派遣隊員に対する激励及び遠隔地勤務隊員に対する慰問激励、退職隊員の就職援護活動に対する支援、殉職隊員追悼式の援助、体育振興援助等を実施し、自衛隊の士気高揚と健全な発展に貢献した。

現在の会員数 606名（法人 538社、個人 68名）

10. 寄贈を受けた図書、資料、会員名簿、報告書類

本年度に会員、諸官庁、会社、銀行、協会、団体、学会その他より寄贈された印刷物は次の通り。

図書28冊、各種資料及び雑誌507冊

11. 会館見学者

本年度の当倶楽部会館見学者は次の通りである。

○明治大学経営学部 25名